

できていますか？

かがやくけん、かがわけん。

香川県

家具類の転倒防止対策

(平成28年熊本地震による被害状況)

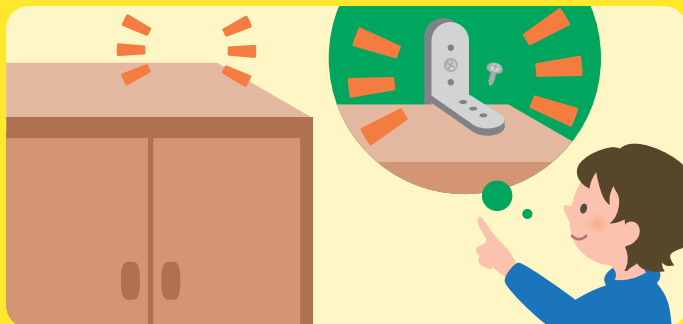


矢守克也氏(京都大学防災研究所・教授)提供

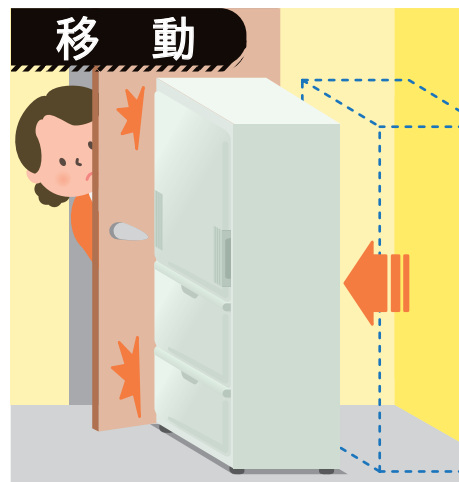
今後30年以内の

南海トラフ地震発生確率は

70~80%!! ※基準日:
令和2年1月1日



家具類を固定していないと…様々な**被害**が！



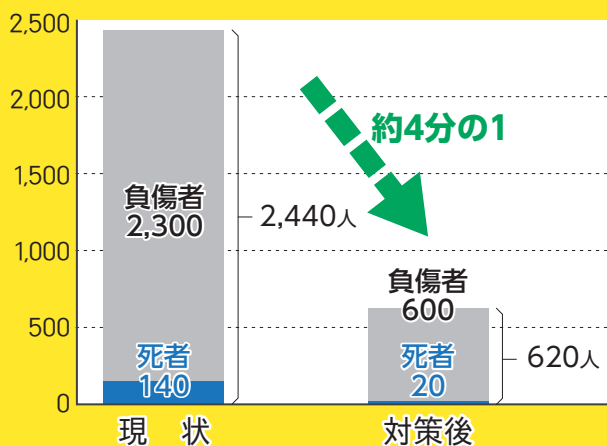
あなたのお家は大丈夫ですか？

南海トラフ地震はいつ起こってもおかしくありません。

香川県地震・津波被害想定調査報告書では、家具類の転倒・落下防止対策によって、死傷者数を**4分の1**に軽減できるとの想定が示されています。

裏面をチェックして、できることからすぐはじめましょう！

家具類の転倒・落下防止対策による死傷者の軽減(人)



◎転倒・落下防止チェックリスト

優先的に確認しましょう！

寝室 子供部屋 リビング 台所

チェック項目	ポイント
<input type="checkbox"/> 家具の置き場所を検討	<ul style="list-style-type: none"> 「寝る場所」や「座る場所」の近くにはできるだけ家具を置かないようにしましょう。 避難経路がふさがれないようにするため、廊下、玄関、扉の前には家具を置かないようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 家具の向きに注意	<ul style="list-style-type: none"> ベッドなどに向かって倒れてこないよう、家具の向きを見直しましょう。
<input type="checkbox"/> 家具の重心を下げる	<ul style="list-style-type: none"> 家具の上部に重い物を入れてしまうと倒れやすくなります。重い物は下部に、軽い物は上部に配置換えしましょう。
<input type="checkbox"/> 家具の固定	<ul style="list-style-type: none"> 家具の固定には、様々な固定方法・固定器具があります。下の「主な転倒・落下防止器具」を参考に、固定方法を検討しましょう。
<input type="checkbox"/> ガラスの飛散防止	<ul style="list-style-type: none"> ガラスの扉が付いている家具は、地震の際にガラスが割れ、中身が飛び出したり、割れたガラスでケガをする可能性があります。窓ガラスも含め、飛散防止のためのフィルムを貼るなどの対策をしましょう。

◎主な転倒・落下防止器具

1

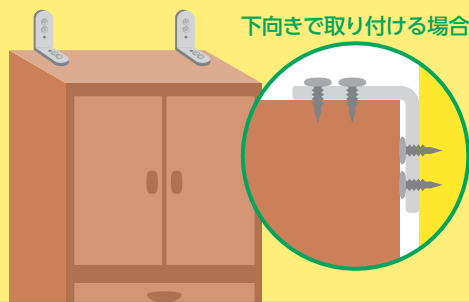
壁や柱に直接固定 (ネジ止め)するタイプ

POINT

壁の中の柱・間柱・胴縁や、家具天板の芯材等、ネジのしっかり止まる場所を確認してから固定を行いましょう。

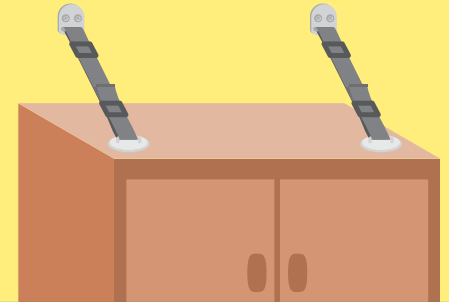
L型金具

家具と壁をネジやボルトで直接固定する器具。下向きで取付できれば効果が高まります。



ベルト・ワイヤー式器具

冷蔵庫等、壁との間に隙間がある場合や、壁側の固定先までの間隔が大きい場合等に有効です。



2

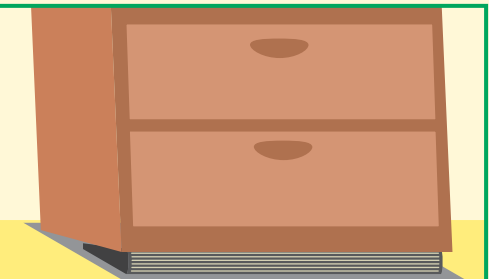
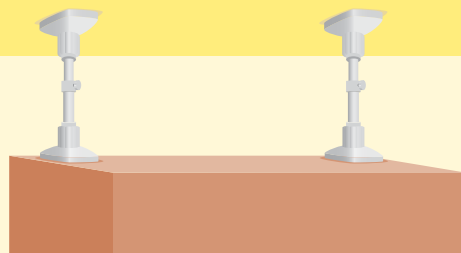
ネジ止めを しないタイプ

POINT

「ポール式」+「ストッパー式」等、組み合わせることで効果が高まります。

ポール式器具

家具と天井の間に突っ張る形で設置する器具。天井に強度が必要であるほか、天井までの間隔が大きいと効果が期待できないので注意しましょう。



ストッパー式器具

家具の下に挟み込み、家具を壁面に傾斜させる器具。家具の背が高いと効果が低くなるので、他の固定方法と併用しましょう。

3

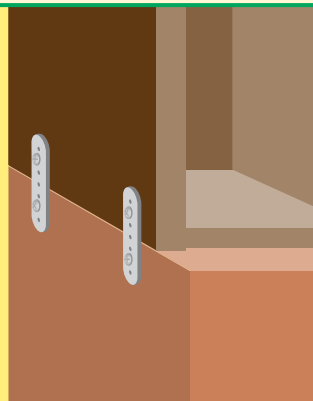
家具・收容物の落下を 防止する器具

POINT

①や②にプラスして実施。様々な器具があるので、家具や状況に合ったものを選択しましょう。

連結金具

上下で分かれている家具を連結し、転倒や落下を防止する器具。ネジ止めするタイプのほか、シートタイプもあります。



扉開放防止器具

扉の開放を防ぐことで、收容物の落下を防止する器具。様々な形状のものがあるので、扉の使用頻度等を考慮して器具を選びましょう。

